

## 香川県

<研究主題>

### 学ぶ意欲と思考力・判断力を高める 学びの創造

#### 観音寺市立観音寺東小学校

(平成17～19年度指定)

#### <学校の所在地・児童生徒数>

香川県観音寺市立観音寺東小学校 児童数247名  
〒768-0060 香川県観音寺市観音寺町甲670番地2  
電話：0875(25)2219

### 1 研究課題の設定理由

本校では学年が進むにつれて学びに対する喜びや意欲が低下する傾向が見られた。また、繰り返し練習を面倒がり、家庭学習時間も減少している。さらに、主体的に意見を持ち、自分の考えで行動しようとする力が弱くなっていると感じられた。

そこで、学習意欲の向上を図るとともに、自分の思いを適切に伝え合う力に深くかかわる思考力・表現力を育成したいと考えた。

### 2 研究の特色及び概要

#### (1) めざす子ども像と学力

児童の実態や保護者・教職員の願いをもとに、めざす子ども像を以下のように設定した。

- 学ぶ喜びを感じとり、意欲的に学習に取り組む子
- ことばに敏感になり豊かな言語感覚をもった子
- 自分を見つめ、よりよく向上しようとする子
- 豊かな社会性を身に付け、進んで人とかかわる子

また、育てたい学力を、学習対象や学習することへの興味・関心、意欲としての「学ぼうとする力」、基本的な学習スキルや学習の質や幅を広げるための思考力・表現力としての「学ぶ力」、学んだ結果としての知識・理解であり、新たな学習を支える基礎としての「学んだ力」と捉えた。また、この3つの力が絡み合うことで豊かで上質の学習

が成立すると考えている。

そこで、このような学力を身に付けた児童の育成に向け「学びを支える基礎づくり」「教えて学ばせる授業づくり」と「指導力向上を目指した職員研修」に取り組んでいる。

#### (2) 学びを支える基礎づくり

学びを支える基本的な姿勢や資質づくりのために、以下の5つの視点から取り組んでいる。

- ① 繰り返し学習を通して、基礎学力を鍛え、学習への自信を育む

毎日1時間目を「かがやきタイム」として設定し、国語・算数等のスキルアップをめざし、取り出し指導している。(月末テストで評価)

また、静寂の中で集中して取り組むこと、集中と休息を繰り返すことなど、自分を前向きにコン



トロールする体験を大切にしている。

<かがやきタイム：真剣に！集中して！>

- ② ことばの力の育成

より多くの「聞く・話す・書く・読む」場を確保し、主体的な態度とことばへの感性を養う。

- ③ 読書力の育成

朝の読書、親子読書などに取り組み、読書生活の確立を通して心の陶冶と基礎活力を育む。

- ④ 学び合う集団づくり

「ソーシャルスキル・トレーニング」を導入し、集団づくりと人とかかわる力や態度を身に付ける。

- ⑤ 学びのルール・マナーづくり

学習の準備をする、始業時間を守る、話し合い

の仕方など、基本的な学習ルールやマナーの向上を図り、学びへの構えを定着する。

### (3) 教えて学ばせる授業づくり

「教えるべきことは徹底して教え、学ばせるときはじっくり待つ」を基本姿勢に、以下の4つの視点から授業改善に取り組んでいる。

#### ① 学習意欲の喚起

- ・ 学習活動に実物や写真、関連する活動を取り入れるなど、導入・教材・教具を工夫する。
- ・ 交流の必然性を高め、友達とのかかわりの中で学ぶ喜びや学習の価値を発見させる。
- ・ VTR を活用したり、KJ 法などを使って考えを整理したりしながら、客観的に自分たちの学びの過程を評価させる。

#### ② 思考力・表現力の育成

- ・ 学習場面での意図的な教師の問いかけや語り始めのことばの指導等を通して、「仮定」「逆説」「予想」「願い」「結論」「要約」等の基本的な思考スキルを習得させる。
- ・ 交流活動など思考や表現の場を確保したり、思考や表現を誘発する素材を工夫したりし、コミュニケーションを大切に学習を進める。

#### ③ 学びにつながる体験の重視

体験との関連を重視することで、学習対象への具体的なイメージをもち学習内容の意味を理解し、実感を持った学びができる。このような学習を繰り返すことで、思考や表現を活性化し、その質を高める。

#### ④ 個に応じた指導の工夫

算数科・国語科を中心に、つまずきの原因を探るためにノートやワークシートを工夫する。また、個の習熟度や思考スタイルに応じた指導方法を工夫する。

### (4) 指導力向上を目指した職員研修

「確かな学力は、確かな授業力から」を合い言葉に、積極的な授業研究と授業公開に取り組み、広く意見を求めている。

#### ① 外部講師の招聘

大学の研究者などを招聘し、外部評価をいただくとともに、研究への示唆をいただく。

#### ② ワークショップ型の校内研修の推進

教職員の多様な経験や特徴を生かし、多様な視点から研究に取り組むために、ワークショップ型研修を推進する。



<意見を出し合い学校課題を整理>

## 3 研究の成果と今後の課題

### (1) 成果

- ① 一人一人の教員が、これまでの指導や児童理解の在り方を見直し、授業改善の必要性を感じ取った。このような意識の変容に伴い、授業公開・授業研究が積極的に行われた。
- ② 児童の学習への取り組みが徐々に積極的になり、基礎学力もほぼ定着している。

### (2) 課題

- ① めざす授業や育てたい力を具体的な子どもの姿として全職員が共有し、より実践的で協動的な研究を推進する。
- ② 家庭との連携を深め、児童が学習意欲を継続できる家庭学習の在り方や良習慣の確立への手だてを探る。
- ③ 研究者と協動的な校内研修の在り方を共同研究し、研修の質を向上させる。

<参照できるホームページアドレス>

<http://www.niji.or.jp/school/higasi/>  
(観音寺市立観音寺東小学校)